アンテナ・伝播研究専門委員会からのお知らせ

No.182/2022 年 3 月

「アンテナ・伝播研究専門委員会からのお知らせ」第182号をお届けします.

【１】 一種研開催報告

一種研が3月10日，11日の2日間，オンラインで開催されました．本来は弘前商工会議所を現地会場とするハイブリッド形態で開催する予定でしたが，最近のコロナウイルス感染状況を鑑みて，完全オンラインとなりました．

今回は，IEEE AP-S Tokyo Chapter特別講演1件，A・P研フレッシュドクターセッション4件を含め18件の講演がありました．

Tokyo Chapter特別講演では，情報通信研究機構（NICT）の滝沢賢一様より，「世界をレジリエントにする情報通信技術の実現に向けて」と題して，NICTで取り組んでいるいくつかの研究開発プロジェクトを紹介いただきました（写真１）．少し前までは聞いたこともないいくつかのキーワード（私の勉強不足？）および最近耳にする機会の多いSDGsにつながる技術を丁寧に解説いただきました．

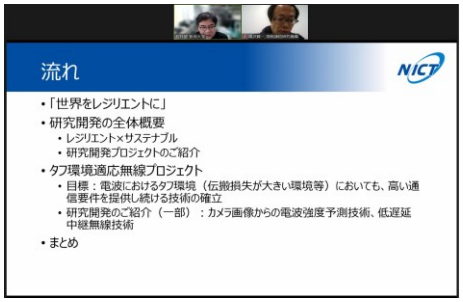


写真１　特別講演
（滝沢様（右）と石井 Chair（左））

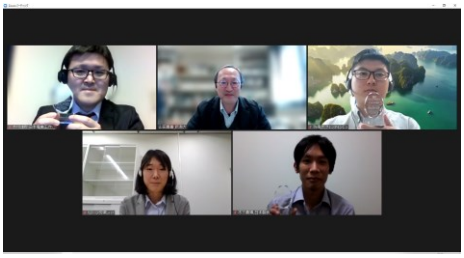


写真２　フレッシュドクター講演者
（上段中央は山田委員長）

フレッシュドクターセッションでは，最近博士号を取得された（予定を含む）下記4名の方から，博士論文の内容を中心にご自身の研究成果を発表頂きました．発表者には記念品が贈られました（写真２）．今後のA・P分野での活躍が期待されます．

◆木下貴博(日本製鉄)，鉄鋼業におけるマイクロ波利用技術に関する研究，AP2021-189.

◆松川沙弥果(産総研)，マイクロ波導波モードを用いたパイプラインの非破壊検査に関する研究，AP2021-190

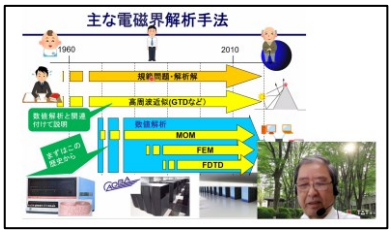
◆グェン タイン ビン(防衛大)，電磁クローキングによるアンテナの相互結合抑制，AP2021-191.

◆木村雄樹(日本電業工作)，有限の誘電体基板を用いたキャビティ装荷直交偏波共用Lプローブ給電2周波広帯域多リング形マイクロストリップアンテナに関する一検討，AP2021-192.

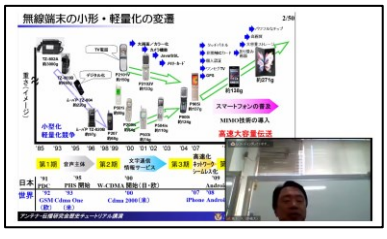
【２】歴史チュートリアルワークショップ開催報告

3月9日(A・P研の前日)に，歴史チュートリアルワークショップを下記テーマおよび講師陣で開催しました（写真３）．

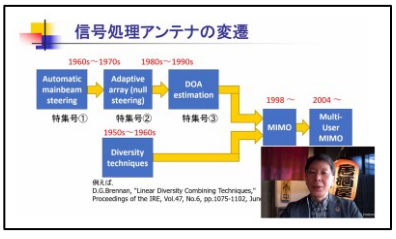
- ◆ 電磁界解析の歴史と将来展望（農工大・宇野 亨先生）
- ◆ 携帯端末用アンテナの歴史と将来展望（防衛大・森下 久先生）
- ◆ 信号処理アンテナの歴史と将来展望（名工大・菊間信良先生）



宇野 亨 先生



森下 久 先生



菊間信良 先生

写真３　歴史チュートリアルワークショップ

完全オンラインでしたが130名以上の方々に参加いただき，多くの方から好評をいただきました．アンケートに協力いただいた皆様，ありがとうございました．アンケート結果は講師陣にフィードバックするとともに，今後の運営に反映させていただきます．

【３】A・P研拡大執行委員会報告

3月11日(A・P研後)にA・P研拡大執行委員会が開催されました（写真４）．これは，A・P研の執行部，各種委員会の委員長，幹事，幹事補佐（全30名程度）により，今後のA・P研の運営方針について議論する場です．オンライン会議ではありましたが，2時間半に及び活発な議論が交わされました.紙面の都合で詳しい内容は書けませんが，各種委員会等で報告されます．

写真４　拡大執行委員会

【４】iWEM2022発表論文募集

IEEE AP-S Tokyo Chapter主催による，iWEM2022 (IEEE International Workshop on Electromagnetics: Applications and Student Innovation Competition)が2022年8月29日-30日に，千葉工業大学で開催されます．開催は現地とオンラインで結ぶ，いわゆるハイブリッド方式の予定です．投稿〆切は5月8日です．学生をエンカレッジすることも開催趣旨の一つですので，是非ふるって応募ください．詳細は下記をご覧ください．
https://attend.ieee.org/iwem-2022/

【５】新しい研究会運営WG報告

3月11日の夕方，新しい研究会運営WGが開催されました．今後の研究会の運営について意見交換し研専運営会議への提案を取りまとめる会議です．そこで示されたデータの一部を表1に示します．コロナが落ち着いていた昨年末にハイブリッド会議が多く開催されています（2月3月は，また完全オンラインが多いと思われます)．開催回数，発表数は減少していますが，参加者は増加しています．なお，20年度，19年度については，お知らせNo.176に掲載しています．

表１　今年度の研究会開催状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	19年比	18年比
21年	開催回数	6	15	9	14	10	6	12	17	8	19			113	96%	92%
	内ハイブリッド	1							7	7	8			23		
	発表数	50	215	114	194	119	74	191	257	108	NA			1322	80%	71%
	参加者数	251	895	581	1025	664	382	1093	1208	554	NA			6653	133%	116%

【６】 副委員長の戯言

◆青は藍より出でて藍より青し

卒業シーズンです．M2とB4を合わせて研究室の学生の半分くらいが就職のため旅立ちます．私の研究室の学生に限らず，是非，将来大きく活躍し，師を超えていってほしいと思います．

青という色は藍(あい)という草から取りますが，その色は元の藍よりもいっそう鮮やかな青色になることから，弟子の活躍を表すことわざとして「青(あお)は藍(あい)より出(い)でて藍より青し」が用いられ，私の好きなことわざの一つです．この「お知らせ」を読んでいる方は若手から大先輩までいらっしゃると思いますが，皆さんはご自身の「師」を超えました？　あるいは超えられそうですか？　私には，豊田中研の西川さん，名工大の菊間先生，福井大の堀先生と，自分の生き方に大きな影響を受けた3名の「師」がいますが，まだまだ当分超えられそうにありません...

なお，「青は藍より...」の本来の意味は，「学問は中断しなければ，すぐれた効果を上げるということ」だそうです．私には中断せず継続していても超えられないものも多いですが...

〈問い合わせ先〉
アンテナ・伝播研究専門委員会副委員長　　藤元美俊　（福井大学）
E-mail：ap_ac-chair@mail.ieice.org（A・P研執行部のメールアドレス）
AP-NET：A・P研の最新情報を毎月メールにてお届けします!! 登録はA・P研HPにて
A・P研HP：https://www.ieice.org/cs/ap/